



令和元年7月1日現在	
総世帯数	7,660世帯
総人口	16,904人
男	8,438人
女	8,466人



第45回

芳川地区体育大会が 開催されました。

7月7日(日)、通算45回目、令和になって初めての芳川地区体育大会が開催されました。開会式直前に降り出した雨が、この口を目指して練習を重ねてきた選手のみなさんの願いもむなしく、あがることはなく屋外競技は二年連続で中止になりました。その結果、総合優勝も持ち越しとなりました。

実施された屋内種目は、大勢の応援に押されて、白熱した試合が展開されました。昨年から採用になったニュースポーツの各種目は、各町会が積極的に練習に取り組んだことから、ハイレベルの戦いとなり、前回をはるかに上回る得点をたたき出す町会もありました。

競技中に体調不良により救急搬送された方もいましたが、大会役員、関係者、現場に居合わせた医療関係者の協力、連携で大事に至ることはありませんでした。ありがとうございました。

選手、役員、応援のみなさん、大変お疲れさまでした。来年もより多くのみなさんの参加をよろしく願います。



種目別結果報告

- バレーボールの部…………… 優勝 野溝
- 卓球の部…………… 優勝 村井町
- ゲートボールの部…………… 優勝 小屋
- ニュースポーツの部…………… 総合優勝 小屋
- 囲碁ボード部門…………… 優勝 美芳町
- シヤツフルボード部門…………… 優勝 長丘町
- ラダーゲッター部門…………… 優勝 小屋
- ニチレクボール部門…………… 優勝 長丘町



※屋外種目・ソフトバレーボールは天候等により中止

芳川読書会最終章

芳川読書会が産声をあげたのは、昭和50年のこと。旧芳川村役場の建物に公民館があった時代で、住民の手によるサークル活動の草分け的存在でした。

以来、44年間、竹取物語、和泉式部日記、蜻蛉日記などを読み継ぎ、6月21日の読破をもって、会の活動の最終章を迎えました。

講師の野口光子先生の凛とした読み解きに、紫式部の描く世界と大和言葉の美しさを改めて噛みしめました。教室形式による学びは幕を閉じましたが、個々の学びはこれからも続きます。



松本城床磨き

5月22日午後5時からからお城の床磨きに町会長(古城会会員)5人で、参加して来ました。参加者は入り口で床磨き用の特別な袋胡桃の粉末と糠が入った袋を渡され割り当てられた2階の床を磨き上げてきました。

30分ほどで終了して、松本城の歴史等の講義を受けました。今回は家紋の講義で石川家に始まる歴代城主6家の家紋などが紹介され終了しました。



芳川の今昔物語

第28話



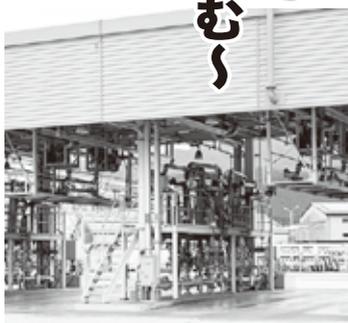
市場団地から美ヶ原高原を望む

その昔.....

市場の日本オイルターミナル(株)に国鉄の輸送列車が引き込み線に停車している。隣接した秩父生コンのタンクとサンアイの屋根には「53年やまびこ国体を成功させよう」のローガン、遠景に美ヶ原高原の王ヶ鼻・王ヶ頭が見える。

現在は.....

1978(S53)年のやまびこ国体から50年後、2027年には再び長野県で国体開催が内定している。上の写真の建物等は現在も残っているが、オイルターミナルの設備により、同じ場所からは見えない。



▲撮影:令和元年7月13日

たちばなし

梅雨が明けると夏本番。今年も昨年の猛暑のようですと、万全の対策が必要ですね。

私はお墓の仕事をしているのですが、先日とても嬉しかった事がありました。

お墓に故人の戒名をお彫りするお仕事をお受けしました時に、奥様から「亡くなった主人が読んだ俳句なのよ」と見せていただいたのが、お孫さんによつて綺麗に短冊に清書された、山口県から奥様の郷里、信州に来られた旦那様の俳句でした。

「この句をどこかに刻めないかしら?」それでしたらと、墓石に刻む事をご提案し、さらにお孫様の書いたそのままの文字でやりましょうと伝えますと「そんな事ができるの?孫の字で?お父さんも喜ぶわ。」と涙目に。私どもの技術がお役に立てたのかも、役に立てて良かったと思える梅雨の合間の晴れた日の出来事でした。

夏本番となればお盆です。お墓は家族の「想い」の場所。良いお墓参りになりますように。